



校報 こなかだい

第1号

千葉市立小中台中学校



R8.4.15

学校教育目標 「自ら考え正しく判断し、実践できる生徒の育成」

令和8年度スタート

輝かしい希望の春、新入生282名を迎え、全校生徒854名で令和8年度の教育活動を開始いたします。教職員一同、お子様一人ひとりの可能性を引き出せるよう、情熱をもって日々の活動に取り組んでいきます。学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を見守っていただければ幸いです。今年度もよろしくお願ひいたします。



入学式 学校長式辞

千葉市立小中台中学校校長

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を、私たち小中台中学校の教職員、そして二年生、三年生の先輩全員、心から歓迎します。

皆さんは今、真新しい制服に身を包み、期待と、そして少しの不安を抱えていることでしょう。「見えない不安」を感じるのは、皆さんが新しい世界へ一歩踏み出そうとしている証拠です。

しかし、心配は無用です。小中台中学校の先生方や先輩たちは、皆さんの不安を受け止め、全力で支える準備ができています。

さて、今日から始まる中学校生活は、日数にするとおおよそ「一〇〇〇日間」です。

最近、中高生の間で共感を呼んでいる、乃紫さんの「一〇〇〇日間」という歌をご存知でしょうか。その歌詞の中に、こんな言葉があります。

「一〇〇〇日じゃ足りない記憶」

「一〇〇〇日じゃ言えない言葉」

この歌詞のように、これから始まる「一〇〇〇日間」は、長いようでいて、実はあっという間です。その限られた時間の中で、皆さんに大切にしてほしい本校のスローガンがあります。

それは、「台中プライド」です。

この言葉には、「一人ひとりが輝き、集団が輝く学校」、そして「伝統に誇りをもち、挑戦し続ける」という強い願ひが込められています。

では、どうすれば皆さんは輝くことができるのでしょうか。それは、失敗を恐れずに「挑戦」することです。勉強、行事、部活動、あるいは何気ない日常。何かに全力で取り組むその姿こそが、皆さん自身を輝かせます。

そして、自分だけでなく、友達の挑戦も応援してください。互いの良さを認め合い、励まし合うことで、クラスや学年という「集団」もまた、輝きを放ち始めます。

本校は今年、第八十回という節目の入学式を迎えました。奇しくも今年、千葉市が開府九〇〇年を迎える歴史的な年でもあります。一九四七年の創立以来、先輩たちが築いてきたこの伝統のバトンは、今日、皆さんの手に渡されました。一〇〇〇日後、この学び舎を去る時に、「一〇〇〇日じゃ足りない」と思えるほどの、数えきれない思い出を、仲間と共に創り上げていってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうござひます。手塩にかけて育ててこられたお子様の晴れ姿に、お慶びもひとしおのことと拝察いたします。本日より大切なお子様をお預かりします。私たち教職員は、お子様の「個々の輝き」を見逃さず、誠心誠意向き合ってまいります。学校とご家庭とが車の両輪となって成長を支えていけるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さあ、本日より二八二名の新入生を迎え、令和八年度がスタートします。皆さんが、この二度と来ない一〇〇〇日間を「台中プライド」と共に駆け抜け、自分らしく輝くことを願ひ、式辞といたします。